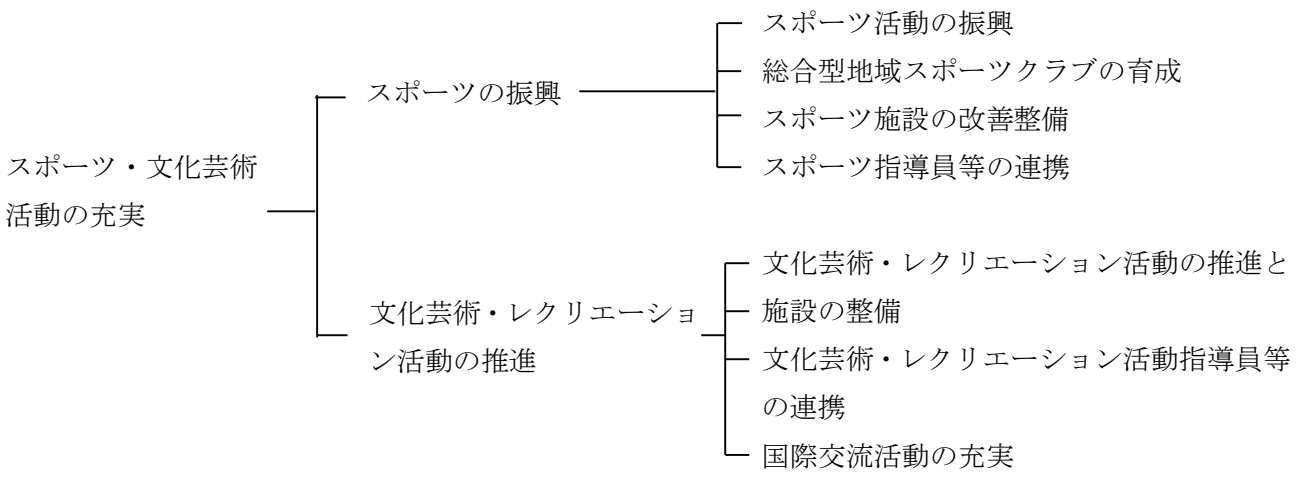
7．スポーツ・文化芸術活動の充実



（1）現状と課題

障害者の社会参加を促進し、ゆとりと潤いのある生活を実現させるために、障害者がスポーツ、レクリエーション、文化芸術活動に参加する機会を確保することは大変重要です。

① 現　状

・スポーツの振興

生涯スポーツの日常化に向けて、誰でも気軽に参加できる事業を推進しています。体育健康フェスタ、ひなち湖紅葉マラソン大会、青蓮寺湖駅伝競走大会などは多くの参加者を得て健康増進はもとより、様々な立場の参加者間のコミュニティの場の一つとなっており、障害のある人も多数参加されています。また、ニュースポーツの普及等により、スポーツに楽しむ機会を提供しています。平成 24（2012）年度には総合体育館のバリアフリー整備工事を実施し、入口のスロープ、自動ドア、受付ローカウンターの設置や男女トイレの洋式化を行いました。。

障害者のスポーツ活動としては、三重県主催の障害者スポーツ大会が開催されており、全国大会への派遣選手の選考会も兼ね、名張市からも選手が出場し、優秀な成績をおさめています。民間スポーツ施設も市内に複数あることから、障害者がそれらの施設を利用してスポーツ振興を図ることが必要になっています。

名張市障害者スポーツ大会が毎年 10 月に実行委員会組織で開催されており、身体、知的、精神すべての障害者を対象にレクリエーション的な競技を行い、家族や介助者、ボランティアの交流の場、一般の人たちとの交流の場、障害について理解をしてもらう場としても重要な役割を果たしています。

本市では、毎年体育の日を中心に体育・健康フェスタを開催し、障害者団体がバザーなどのコーナーを設けて、多くの市民の参加交流による催しを行っています。

・文化芸術・レクリエーション活動の推進

総合福祉センターふれあいを始めとして市内の障害者支援施設や通所施設において、「カラオケ教室」、「陶芸教室」、「ボウリング」、「グラウンドゴルフ」などの創作活動やレクリエーション活動が行われて

います。祭りやコンサートの開催など発表の機会も増えています。ゆとりと潤いのある生活を実現するために、障害者が文化芸術活動に触れたり楽しめる機会や発表の場を増やすことなど参加交流を促進する必要があります。また、三重県障がい者芸術文化祭が平成 26（2013）年 11 月 8 日、9 日に市内のＡＤＳホールと名張公民館を会場にステージ発表や作品展が行われ、障害者の芸術・文化活動に対する活性化を図り、障害者の自立と地域社会への参画を推進しました。

【前計画の達成状況】

ⅰ.スポーツの振興

・スポーツ活動の振興については、指定管理者制度の導入をすることにより、民間活力の導入を図りました。

・総合型地域スポーツクラブは既に育成した１クラブを核として、各地域組織等との連携について検討しています。

・スポーツ施設の改善整備は、計画に基づきで実施しています。

ⅱ.文化芸術・レクリエーション活動の推進

・青少年センターや公民館などの施設整備を計画に基づき進めています。

② 調査結果

(ｱ)外出の目的

外出する目的について障害者本人に聞いたところ、趣味やスポーツなどの社会参加活動は 11.5%、地域行事への参加が 6.0%となっています。全年齢層・性別においても同じ傾向にあります。

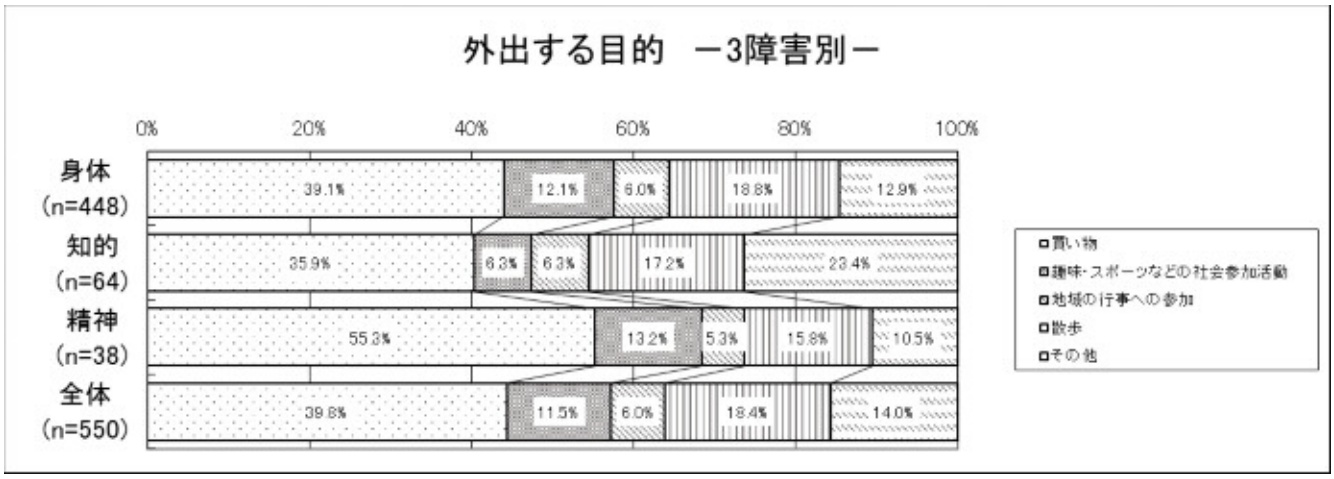


図 18 外出する目的 －3 障害別－

(ｲ)運動等の実施状況

運動等の実施状況について障害者本人に聞いたところ、障害者全体で毎日する 21.1%、時々する 22.6%、たまにする 9.8%となっており、約 5 割の者が運動等を行っています。年齢別・性別では、毎日すると答えた者は全年齢・性別において 2 割弱以上になっています。

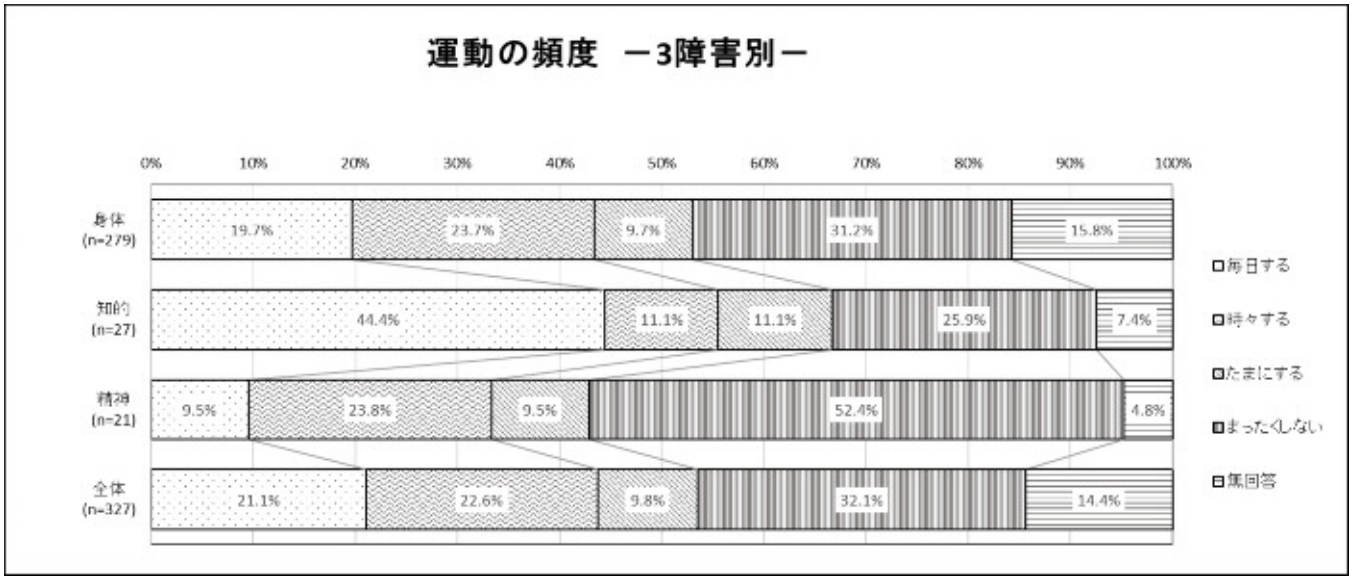


図 19　運動の頻度　－３障害別－

表 11　運動の頻度　―障害者本人　年齢・性別―

年齢	0 歳～19 歳						20 歳～39 歳					
項目／性別	男		女		計		男		女		計	
毎日する	2	18.2%	2	25.0%	4	21.1%	10	34.5%	1	7.7%	11	26.2%
時々する	4	36.4%	4	50.0%	8	42.1%	2	6.9%	4	30.8%	6	14.3%
たまにする	2	18.2%	0	0.0%	2	10.5%	2	6.9%	4	30.8%	6	14.3%
まったくしない	2	18.2%	1	12.5%	3	15.8%	12	41.4%	4	30.8%	16	38.1%
無回答	1	9.1%	1	12.5%	2	10.5%	3	10.3%	0	0.0%	3	7.1%
総計	11	100.0%	8	100.0%	19	100.0%	29	100.0%	13	100.0%	42	100.0%

年齢	40 歳～59 歳						60 歳～79 歳					
項目／性別	男		女		計		男		女		計	
毎日する	4	17.4%	7	25.0%	11	21.6%	25	26.6%	24	22.6%	49	24.5%
時々する	6	26.1%	4	14.3%	10	19.6%	22	23.4%	22	20.8%	44	22.0%
たまにする	3	13.0%	2	7.1%	5	9.8%	7	7.4%	12	11.3%	19	9.5%
まったくしない	6	26.1%	8	28.6%	14	27.5%	26	27.7%	34	32.1%	60	30.0%
無回答	4	17.4%	7	25.0%	11	21.6%	14	14.9%	14	13.2%	28	14.0%
総計	23	100.0%	28	100.0%	51	100.0%	94	100.0%	106	100.0%	200	100.0%

年齢	80 歳以上						全体							
項目／性別	男		女		計		男		女		不明		計	
毎日する	3	9.7%	6	14.6%	9	12.5%	44	23.4%	40	20.4%	1	9.1%	85	21.5%
時々する	8	25.8%	11	26.8%	19	26.4%	42	22.3%	45	23.0%	1	9.1%	88	22.3%
たまにする	3	9.7%	1	2.4%	4	5.6%	17	9.0%	19	9.7%	0	0.0%	36	9.1%
まったくしない	13	41.9%	17	41.5%	30	41.7%	59	31.4%	64	32.7%	5	45.5%	128	32.4%
無回答	4	12.9%	6	14.6%	10	13.9%	26	13.8%	28	14.3%	4	36.4%	58	14.7%
総計	31	100.0%	41	100.0%	72	100.0%	188	100.0%	196	100.0%	11	100.0%	395	100.0%

(ｳ)参加している地域活動

参加している地域活動について、スポーツ活動と答えたものが障害者全体の 10.9%となっています。

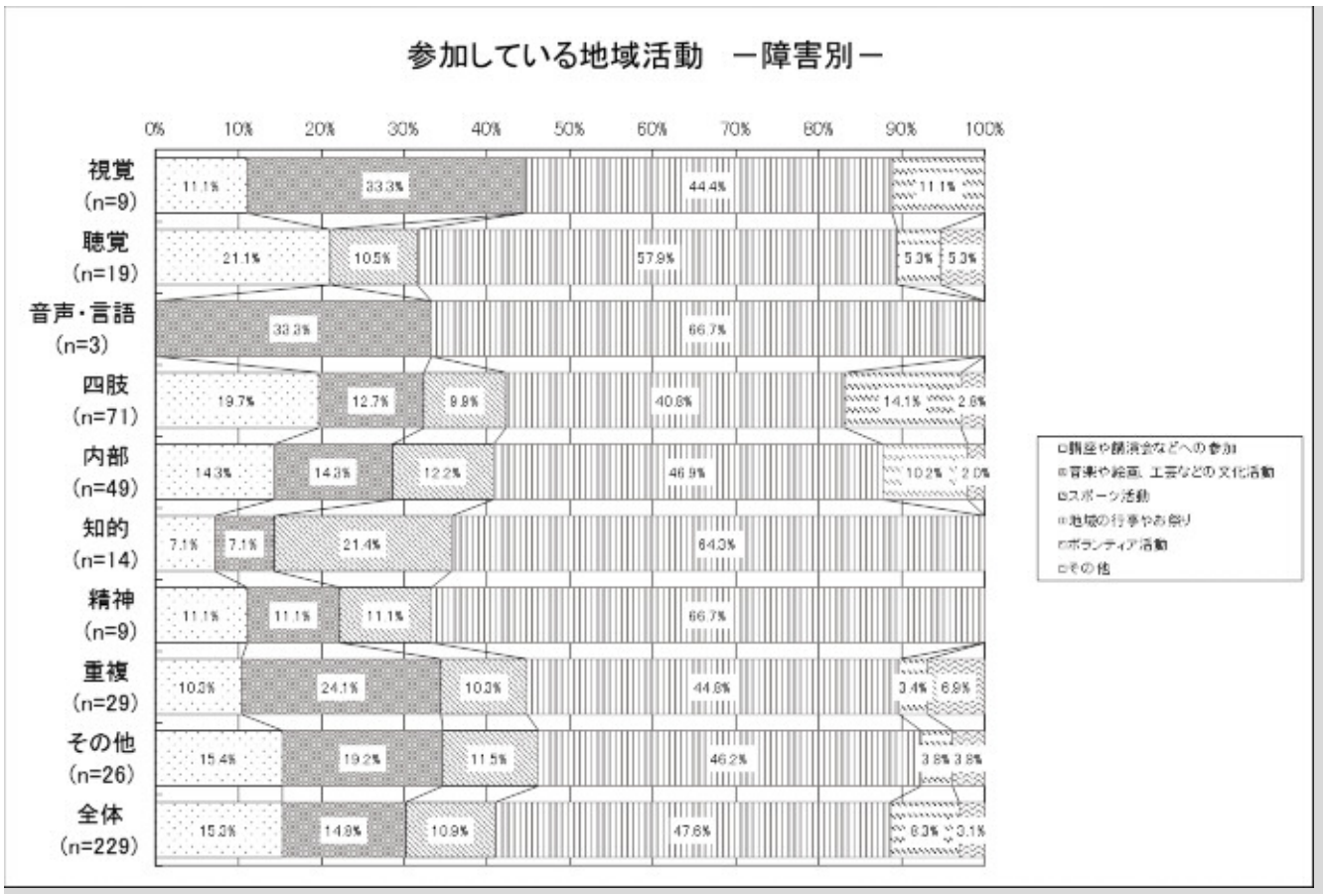


図 20　参加している地域活動　－障害別－

②　課　題

障害者がスポーツやレクリエーション、文化芸術活動に参加することは、障害者の心身の健康の維持と増進や社会参加の促進という点で重要であるばかりでなく、市民が障害および障害者に対する正しい理解と認識を深める啓発と交流の機会としても大きな意義があります。

障害者のスポーツ大会を県や市で毎年実施し、障害者どうしの交流や生きがいにつながっているところですが、今後も市民も気軽に参加し、交流の場となるよう一層の充実を図ることが求められています。これらの充実のためには障害者スポーツ関係機関との連携を図っていく必要があります。

この分野の主要な課題は、次の 2 つです。

・スポーツの振興

・文化芸術・レクリエーション活動の推進

（２）施策の目標

目標を設定する事項	2013 年度現状	2019 度目標
障害者スポーツ大会への参加数	539 人	640 人

①　スポーツの振興

(ｱ)スポーツ活動の振興

スポーツ、文化芸術、図書館、公民館活動の振興および青少年教育等、生涯学習に関する事業を総合的かつ一体的に推進します。

(ｲ)総合型地域スポーツクラブの育成

障害者が参加しやすい行事を計画するとともに、関係機関等との連携により内容の充実に努めます。

(ｳ)スポーツ施設の改善整備

スポーツ施設の改善整備は、計画に基づき実施していきます。

(ｴ)スポーツ指導員等の連携

活動指導者やスポーツ推進委員との連携により、行事への参加を促進します。

②　文化芸術・レクリエーション活動の推進

(ｱ)文化芸術・レクリエーション活動の推進と施設の整備

スポーツ、文化芸術、図書館、公民館活動の振興および青少年教育等、生涯学習に関する事業を総合的かつ一体的に推進します。

障害者の作品展を近鉄名張駅の東西連絡通路の展示ケースや各種講演会等を利用するなどしてその意欲向上に努めています。

(ｲ)文化芸術・レクリエーション活動指導員等の連携

障害者が参加しやすい行事を計画するとともに、関係機関等との連携により内容の充実に努めます。また、活動指導者との連携により、行事への参加を促進します。

(ｳ)国際交流活動の充実

平成 18（2006）年度から平成 20（2008）年度の 3 か年でＪＩＣＡ（国際協力機構）の事業として海外からの交流団を受入れた経緯も踏まえ、今後も機会をとらえて障害者をめぐる国際的な動向の把握や情報交流に努めるとともに、障害者の海外派遣プログラムの活用や交流機会への障害者の参加を呼びかけるなどにより、国際交流の促進を図ります。